

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施 策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	〇多様な人材の確保
主な取組	業界等との連携による建設産業人材育成（多様な人材の活用）		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・ 顕著となっている人手不足対策については、若手や女性従業員を対象とした研修等を支援するなど、多様な人材の確保に取り組むとともに、AI、IoT、ロボット、ビッグデータ等の技術革新に対応できる人材を積極的に活用できる環境づくりを行い、今後の情報技術や新技術を活用した生産性向上の取組強化を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
若手や女性、新技術への対応等、多様な人材の活用に係る講習会の開催	県,関係団体	若手や女性、新技術への対応等、多様な人材の活用に係る講習会の開催		
		講習会の開催回数(累計)		
		3回	3回(6回)	3回(9回)
担当部課【連絡先】	土木建築部技術・建設業課		【 098-866-2374 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
—	—	—	—	主な財源	実施方法	当初予算額
				—	—	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
若手や女性、新技術への対応等、多様な人材の活用に係る講習会を開催した。				若手や女性、新技術への対応等、多様な人材の活用に係る講習会の開催。		

活動指標名	講習会の開催回数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	6回	5回	3回（6回）	100.0%	順調	ICT施工講習会を開催し、新技術について普及を図った。また、総合評価落札方式講習会を開催し、若手や女性の技術者およびICT施工を活用するインセンティブを周知した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
目標を超える回数のICT施工講習会および総合評価落札方式講習会を実施したことから、取組は順調と判断した。多様な人材の活用について普及・啓発を図った。	

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
情報発信の強化・改善を行い、引き続き講習会を開催することで、多様な人材の活用を推進する。	ICT施工講習会においては、ICT活用工事の追加対象となった工種の概要を説明して新技術の普及を図った。総合評価落札方式講習会においては、若手や女性の技術者の活用およびICT活用工事実績が評価項目となっていることを周知し、多様な人材の活用を推進した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	建設業を担う人材の確保は喫緊の課題であり、若手や女性の技術者およびICT施工の活用について、講習会において周知を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	情報発信の強化・改善を行い、引き続き講習会を開催することで、多様な人材の活用を推進する。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施 策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○技術者・技能者等の育成・確保
主な取組	若手建築士の育成		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・多様化・高度化するニーズに対応できるよう、技術者・技能者等の育成・確保に取り組むほか、海外建設市場等の新市場進出に向けた取組や国際交流等を通して、海外建設市場において必要とされる技術力や語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の育成・受入れを促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内の若手建築士の育成および建築技術の向上と発展を図ることを目的に、若手建築士を対象とした設計競技を行う。	県	若手建築士を対象とした設計競技を実施し、金賞作品について設計業務を委託		
		設計競技金賞作品の提案者に対する設計業務の委託件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	土木建築部施設建築課		【 098-866-2416 】	関連URL
				-

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名		建築営繕管理費			予算事業名		建築営繕管理費		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度				
					主な財源	実施方法	当初予算額		
県単等	委託	8,610	10,219		県単等	委託	13,033		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
若手建築士を対象とした設計競技を実施し、当該競技で金賞を取得した作品を元に、翌年度以降の実施設計業務につなげた。					若手建築士を対象とした設計競技を実施し、当該競技で金賞を取得した作品を元に、翌年度以降の実施設計業務につなげる。				

活動指標名	設計競技金賞作品の提案者に対する設計業務の委託件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	1件	1件	1件	1 件（2 件）	100.0%	順調	若手建築士を対象とした設計競技を行い、当該競技で金賞を取得した作品を元に、翌年度以降の実施設計業務につなげた。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄県総合運動公園オートキャンプ場キッチンハウスについて、若手建築士を対象とした設計競技を行った結果、50件（83名）の応募があり、若手建築士の意欲・企画提案能力・技術力の向上につながった。県発注業務の委託についても計画通り実施でき順調であった。	
（2）これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
施設管理者へ若手建築士の育成や建築技術の向上と発展について説明し、施設管理者との調整会議や現場視察等、密な連携・情報共有をする。	施設管理者へ若手建築士の育成や建築技術の向上と発展について説明し、施設管理者との調整会議や現場視察等、密な連携・情報共有をした。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	若手建築士の育成にふさわしい対象事業を継続的に選定することが必要である。（適正な用途・規模・設計期間の確保）	② 連携の強化・改善	施設管理者へ若手建築士の育成や建築技術の向上と発展について説明し、施設管理者と調整会議や現場視察等、密な連携・情報共有をする。
⑦ その他（改善余地の検証等）	取り組みへの施設管理者の理解と、施設管理者との密な連携・情報共有が必要である。		

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施 策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○技術者・技能者等の育成・確保
主な取組	海外建設市場等の進出促進に向けた研修等の実施		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・多様化・高度化するニーズに対応できるよう、技術者・技能者等の育成・確保に取り組むほか、海外建設市場等の新市場進出に向けた取組や国際交流等を通して、海外建設市場において必要とされる技術力や語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の育成・受入れを促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
必要とされる技術力・語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の育成の促進を図るため、県内建設企業向けの海外建設市場等への進出促進に向けた研修等の取組を実施する。	県関係団体	県内建設企業向けの研修等の開催		
		海外展開に向けた研修等に参加した人数(累計)		
		20人	20人(40人)	20人(60人)
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課	【 098-866-2384 】	関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名	-				予算事業名	-			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度				
					主な財源	実施方法	当初予算額		
—	その他				—	その他			
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
令和5年11月16日から12月15日まで行われた2023年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」の実施。					令和5年度実施の研修と同様の研修の実施。				
活動指標名	海外展開に向けた研修等に参加した人数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要		
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和5年11月16日から12月15日の期間でJICA沖縄が主催し、本県が協力して実施した2023年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」において、県内建設企業が同研修プログラムに参加した。		
	-人	17人	14人（31人）	20人（40人）	77.5%	概ね順調			

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
2023年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」のプログラムの一つであるインフラツア-は、研修員（各国行政職員）と県内建設企業との人的・技術的ネットワーク構築を支援することも目的としている。県内建設企業からは計14人が参加していることから、取組は概ね順調と判定した。なお、前年度実施の研修が今年度実施の当該研修に統合された影響により、参加人数が伸びず、目標値に達しなかったと思料される。	
（2）これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○新たな研修の構築等に向けて、県内建設企業からのヒアリング等を行い、海外展開に向けた課題および懸念等を把握をしたうえで、新たな研修の実施内容および実施方法等の確立を図る。 ○当該研修の認知度の向上に向けて、県内建設企業からなる関係団体へ当該研修に関する情報提供等を行った上で、SNS等を活用した情報発信等の強化を図る。	○令和5年度に実施した「R5沖縄建設産業グローバル化支援業務委託」を通じて、海外展開に向けた課題および懸念等を把握した。また、必要となり得る新たな研修の素案等を含めた推進方策の検討を実施した。 ○令和4年度に本県が共催して実施した研修が、令和5年度では2023年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」のプログラムの一つとなり、本県からの情報提供等の実施が困難となった。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	令和5年度までの進捗状況でやや遅れであることから、取組に対するさらなる効果の発現を促すべく、2023年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」の認知度向上が必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	当該研修の認知度向上に向けて、県内建設企業向け海外展開に関連する情報発信等の強化を図る。
⑦ その他（改善余地の検証等）	令和5年度までの進捗状況でやや遅れであることを改善すべく、2023年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」とは別の新たな研修の構築等、活動内容の拡充が必要である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	新たな研修の構築等に向けて、県内建設企業が海外展開に取り組むにあたり、必要となり得る新たな研修の素案等を含めた推進方策を実施する事業の実現を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施 策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○技術者・技能者等の育成・確保
主な取組	途上国等の行政職員へ向けた現場視察の実施		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・多様化・高度化するニーズに対応できるよう、技術者・技能者等の育成・確保に取り組むほか、海外建設市場等の新市場進出に向けた取組や国際交流等を通して、海外建設市場において必要とされる技術力や語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の育成・受入れを促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
必要とされる技術力・語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の受け入れの促進を図るため、途上国等の行政職員へ向けた現場視察等の取組を実施する。	県,JICA沖縄	JICA沖縄が実施する研修等において、県内現場視察実施		
		建設分野の研修等における視察現場件数(累計)		
		2件	2件(4件)	2件(6件)
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課		【 098-866-2384 】	関連URL
				-

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		-			予算事業名		-	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
—	その他				—	その他		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
令和5年11月16日から12月15日まで行われた2023年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」での現場視察の実施。					令和5年度実施の研修と同様の研修での現場視察の実施。			

活動指標名	建設分野の研修等における視察現場件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	-件	5 件	5 件（10件）	2 件（4 件）	100.0%	順調	令和5年11月16日から12月15日の期間でJICA沖縄が実施した2023年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」のインフラツアーにおいて、5件の現場視察を実施した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
2023年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」のプログラムの一つであるインフラツアーは、研修員（各国行政職員）と県内建設企業との人的・技術的ネットワーク構築を支援することも目的としている。同プログラムで本県が整備または管理をしている道路である「県道20号線（泡瀬工区）」ほか4件を含む計5件の現場視察を実施したことから、取組は順調と判定した。	
（2）これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○新たな研修の構築等に向けて、JICA沖縄および県内建設企業からなる関係団体との連携の強化を図る。	○令和5年6月5日でJICA沖縄とJICA課題別研修「（仮）台風関連ハザードに対するリスク削減」の実施に向けて、意見交換および事務調整を実施した。 ○令和5年7月13日および令和6年1月29日で実施された沖縄県－JICA連絡協議会に参加し、JICA沖縄に関する情報収集に努めた。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	令和5年度までの進捗状況が順調であることから、取組に対するさらなる効果の発現を促すべく、JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」とは別の新たな研修の構築等、活動内容の拡充の検討をする。	② 連携の強化・改善	新たな研修の構築等に向けて、JICA沖縄との連携の強化を図る。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施 策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○技術者・技能者等の育成・確保
主な取組	住宅建築に係る技術者講習会の開催		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・多様化・高度化するニーズに対応できるよう、技術者・技能者等の育成・確保に取り組むほか、海外建設市場等の新市場進出に向けた取組や国際交流等を通して、海外建設市場において必要とされる技術力や語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の育成・受入れを促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
建築関係技術者向けの講演会で、沖縄の伝統木造住宅(古民家)などについて講演し、古民家の再生・活用の普及・啓発する。	県	住宅建築に係る技術者講習会の開催		
		講習会の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	土木建築部住宅課		【 098-866-2418 】	関連URL
				—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	地域住宅施策推進事業			予算事業名	地域住宅施策推進事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
内閣府計上	委託	5,183	2,204	主な財源	実施方法	当初予算額
				内閣府計上	委託	2,204
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
県内建築技術者の技術向上を目的として、技術者向け講習会・講演会を開催する。				県内建築技術者の技術向上を目的として、技術者向け講習会・講演会を開催する。		

活動指標名	講習会の開催回数(累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	1回(1回)	1回(2回)	1回(2回)	100.0%	順調	①「建築物の維持保全に関する研究」や「沖縄における新たな木造住宅の考え方」をテーマとする技術講習会を開催した。 ②県内の建築技術向上や建築人材獲得を目的とした建築講演会を開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

全体受講者は187人(来場者120人、Web受講67人)となり、多くの建築技術者(建築士、建設会社、学生など)が受講した。住宅建築に係る技術者講習会の開催の令和5年度実績は1回となり、目標値に達したことから、取組は順調と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
「伝統木造建築物」や「空き家再生」をテーマに関心の高い講習会とし、多くの建築技術者が受講した。令和5年度は、開催時期の見直しにより受講者数を増やしていく。	沖縄の地域性を考慮した「建築物の維持保全に関する研究」や、「古民家など木造住宅における新たな視点」などをテーマとする講習会を開催した。また、学生など若い方も参加したすいよう開催時期を見直すなどにも取り組んだ。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	いかに多くの建築技術者が受講し、県内の建築物における総合的な技術力向上を図ることが課題である。特に若年技術者の受講者数を増やしていくことが重要である。	⑧ その他	受講対象を施工関係や工業系高等学校の学生などにも幅広く範囲を広げて周知を図ることで、受講者数をさらに増やしていきたい。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施 策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○労働環境の改善
主な取組	県発注工事における休暇の取得		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・ 週休二日制の促進など労働環境の改善を図り、将来の建設産業を担う人材を確保するための建設産業の魅力発信に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
建設産業を担う人材の確保のため、週休2日の取組促進の周知活動を実施する。	県	週休2日の取組促進の周知活動の実施		
		説明会の開催回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	土木建築部技術・建設業課		【 098-866-2374 】	関連URL
				-

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名		—				予算事業名		—	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度				
					主な財源	実施方法		当初予算額	
—	—	—	—		—	—			
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
県および市町村職員を対象に週休2日の取組内容に関する説明会を開催。さらなる意識向上を図るため、毎月第4土日を「現場一斉閉所日」の取組を継続。					県および市町村職員を対象に週休2日の取組内容に関する説明会を開催。さらなる意識向上を図るため、毎月第4土日を「現場一斉閉所日」の取組を継続。				
活動指標名	説明会の開催回数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要		
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B				
	2回	2回	2回	2回（4回）	100.0%	順調	発注者である県および市町村の職員への説明会を開催した。		
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果									
県および市町村職員に対して、令和6年4月に適用された時間外労働の上限規制を踏まえた週休2日の必要性および取組内容等に関する説明会を2回開催した。									
(2) これまでの改善案の反映状況									
令和5年度の取組改善案				反映状況					
○対面形式およびオンライン形式を併用した説明会を実施し、より効果的な周知を図ることができるよう取り組む。				対面およびオンラインによる説明会を開始し、より効果的な周知を図ることができた。					

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	オンライン形式による説明会を実施することで、幅広く周知できた。	⑥ 変化に対応した取組の改善	対面形式およびオンライン形式を併用した説明会を実施し、より効果的な周知を図ることができるよう取り組む。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施 策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○労働環境の改善
主な取組	労働環境の改善		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・週休二日制の促進など労働環境の改善を図り、将来の建設産業を担う人材を確保するための建設産業の魅力発信に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
建設工事従事者の労働環境改善を図るため、県計画を推進し、各関係機関は安全及び健康の確保に関する取組を実施する。	県関係団体	労働環境改善に係る取り組みの実施		
		沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	土木建築部技術・建設業課		【 098-866-2374 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名		—			予算事業名		—		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度				
		主な財源	実施方法		当初予算額				
—	—	—	—		—				
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
各関係機関の取組内容と課題を整理し今年度の取組を実施する。あわせて国計画の変更に伴う県計画の見直しを実施する。					各関係機関の取組内容と課題を整理し今年度の取組を実施する。あわせて国計画の変更に伴う県計画の見直しを実施する。				

活動指標名	沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議の開催回数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		順調
	—	1回	1回	1 回（2 回）	100.0%		

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議を行い、各関係行政機関及び建設業関係団体と県計画に対応した取組内容や課題等を共有し連携を図った。関係機関からの労働災害の情報提供や国の動向などについて意見交換を行った。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
○令和5年に国計画の変更があったため、変更箇所の確認し県変更計画（案）を策定する必要がある。	令和6年3月に県計画（案）を作成し、各部署や推進会議委員に意見照会をしている。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	令和5年に国の「建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する基本的な計画」の変更があったことから、この変更に合わせて、県の計画（案）を作成し各部署に意見照会等を行う必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	県の計画（案）を整理し、沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議で議論する。